

環境省補助事業 木質バイオマス事業の進捗について

公募期間：令和2年5月18日 - 6月12日

採択公表：令和2年7月下旬

補助金額：上限1,000万円（定額）

令和2年7月16日

秦野市環境産業部環境共生課

1-1. 事業内容

- 本市の地域資源である「緑」を生かした木質バイオマス事業を「重点プロジェクト」として位置付け、バイオマス資源を利活用していく地域循環システムの構築（次ページのスライドで紹介）について、**実用化協議（社会実装）に取り組む**ための調査・検討を行う。

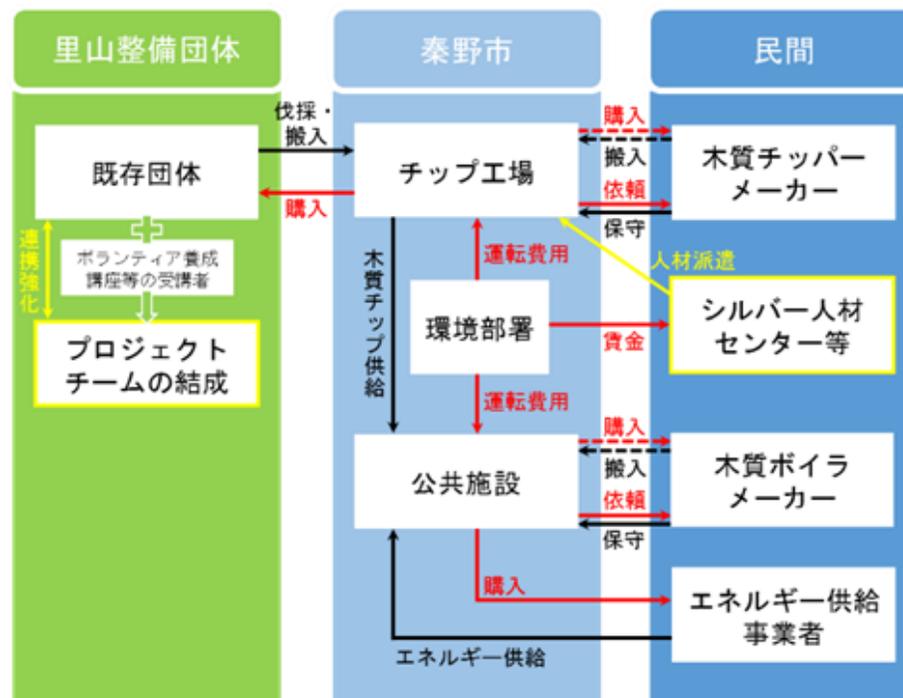
なお、前年度調査において、事業に関連する資源（ヒト・モノ・カネ）のすべてが好循環もと機能すれば、地域循環システムの構築は可能となるが、いかに効果的かつ持続的に活用・発展させていくことが事業推進における最大の鍵であり課題でもある。

特に、本市の場合、実働を想定している里地里山保全整備団体の高齢化や担い手の減少は、活動の停滞に直結しシステム構築の根幹に大きな影響を与えかねない。



これら浮き彫りとなった諸課題を多角的な視点から解消し、あるいは共存できるよう柔軟な制度設計を図り、**健全で持続的な地域循環システムの構築**を目指す。

1-2. 事業スキームのイメージ



※点線はイニシャルコストを示す

2. 将来的に実現する地域循環共生圏の構想の内容（地域の目指す姿）

里地里山の計画的な保全・管理により、**交流の拡大（関係人口等の増加による担い手の確保）**を実現します。



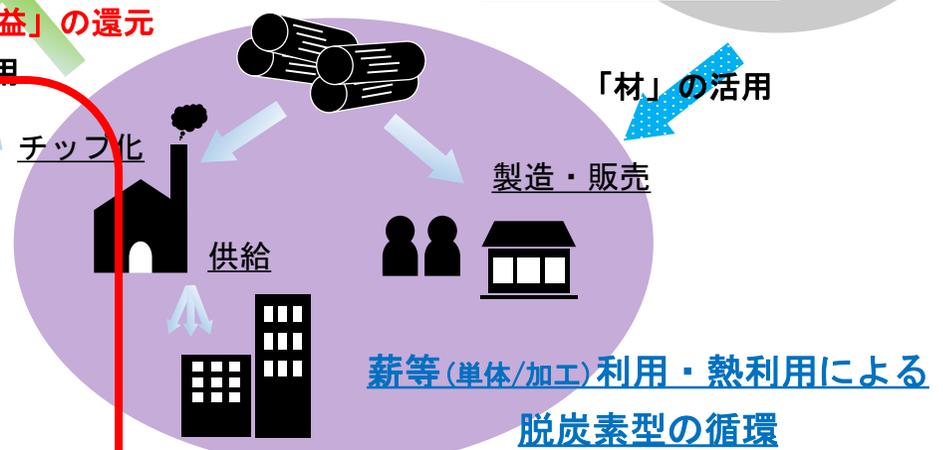
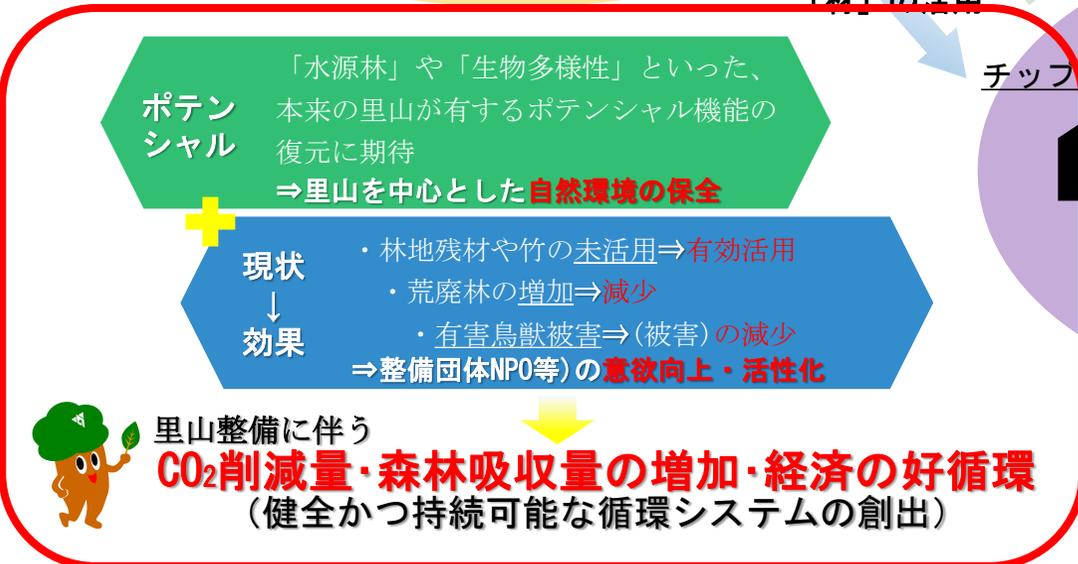
里地里山の計画的な保全・管理により、**エネルギーコスト・CO2排出量の削減**を実現します。

削減量：309t-CO₂/年
 削減費用：7,684千円/年(灯油換算)
13,878千円/年(LPGガス換算)

※本市のエネルギー代金流出額
 →60億円/年
 (域内総生産の約1.2%)
 ※削減量及び削減費用は、整備事業で排出される300t/年から算出



「もりりん」
 くずはの家(本市自然観察の拠点施設)に棲む妖精



里地里山の計画的な保全・管理により、**エネルギー事業の拡大（燃料製造量の拡大・新たな活用の創出など）**を実現します。



里山整備に伴う
CO₂削減量・森林吸収量の増加・経済の好循環
 (健全かつ持続可能な循環システムの創出)

3. ロードマップ

- ▶ 本年度調査により事業計画を確定し、令和3年度に設備導入等の事業開始準備を行い、令和4年度の試験的運用を経ながら、**令和5年度からの事業開始（本格的始動）**を予定している。

項目	令和2年度							令和3年度	令和4年度	令和5年度
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
制度設計に係る最終的な調査・検証										
1 事業採算性の検証										
2 調査及び検討結果の集約、並びに事業の詳細・事業実施体制構築の検討										
3 脱炭素型地域循環システムによる効果の把握										
4 木質バイオマス賦存量の実態把握調査（継続）										
5 公共施設におけるエネルギー使用量調査（継続）										
6 事業計画書の作成										
事業開始準備及び設備の導入等										
1 設備導入等に関する補助金申請及び予算措置等										
2 設備導入										
3 事業の試験的運用										
事業開始										
システムの本格的始動										